

## 平成26年度 第8回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成26年12月9日(火) 10時30分～11時55分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，甲斐文化教育学部長，平地経済学部長，藤本医学部長，石橋工学系研究科長，渡邊農学部長，森田附属病院長，諸泉全学教育機構副機構長，富田附属図書館長，早川総合分析実験センター長，事務局長

欠席者 佐々木監事

○ 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

### 【検討事項】

(1) 部局における第3期中期目標・中期計画素案の作成について

岩本理事から，本件について，教育研究評議会における議論を踏まえ，検討を開始し，各部局で作成した第3期中期目標・中期計画素案が提出されたことに対する御礼とともに，取り組むべき事項について情報共有し，第3期中期目標・中期計画策定の基礎資料とする旨説明があり，今後の協力依頼があった。

次いで各部局から素案について説明があった。

### 【報告・連絡事項】

(1) 平成26年度第9回及び第10回拡大役員懇談会における議論の概要について

企画評価課長から，11月5日及び11月19日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について，その概要の報告があった。

(2) 第3回中期目標・中期計画実施本部会議について

企画評価課長から，11月19日に開催された第3回中期目標・中期計画実施本部会議について，平成26年度年度計画の進捗状況を責任部

局別や進捗状況評価別に整理したものであり、各担当部署においては、内容を確認いただき、未着手や方向性の違いがあるものについては早急に着手いただきたい旨の依頼があった。平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果については、「課題がある」と指摘された事項に対する今後の対応について依頼があった。

また、第2期中期目標期間の教育研究評価に係る作業を円滑に進め、「学部・研究科等の現況調査表」等を平成28年6月30日までに提出するため、「現況分析等に関する作業部会」（仮称）の設置が認められた旨報告があり、今後の作業スケジュールについて説明があった。

さらに、第3期中期目標・中期計画策定の基本方針が示され策定手順、各理事室と作業部会の作業内容及び策定スケジュールについて説明があり、理事室を中心に作業を行い、作業部会が横串となり素案について意見交換をしながら進め、学内パブリックコメント実施の予定である旨説明があった。

(3) 経費削減状況の報告について

財務課長から、平成26年度10月までの電気、上・下水道、ガス等の実績額の報告があり、引き続き各部局とも経費削減に努めていただくよう依頼があった。

学長から、次回から資料に概要を1枚付けるよう指示があった。

(4) 休講及び代替措置の実施報告について

教務課長から、本件について、11月30日現在の休講及び代替措置実施報告一覧、休講理由一覧に基づく報告があった。

(5) 全学教育における非常勤講師削減に伴う教養教育・日本語カリキュラム改革の方針等について

諸泉全学教育機構副機構長から、本件について、全学教育機構運営委員会において改革の方針を定め、教育委員会を介し各学部との協議を行った旨、全学教育機構カリキュラム改革の大枠を各学部提示し検討している旨の説明があった。また、卒業に必要な教養教育科目の単位数減少に対する対応について方針との整合を図り、教育委員会で検討いただき、合わせて新学部設置の資料作りとする旨説明があった。

(6) 平成26年度就職内定状況について（平成26年12月1日）

就職支援課長から、本件について、対前年度同時期比の学部で1.3

ポイント増、大学院で2.3ポイント増、総計で1.2ポイント増となっている旨、就職希望者の未内定者313名については、今後個別に調査し就職支援を行う旨の報告があった。

(7) 平成27年度科研費の申請状況について

研究協力課長から、本件について、平成27年度科研費申請状況及び、昨年と今年の申請件数の比較やその内容の報告があった。

学術研究協力部長から、科研費申請状況による学内資源配分制度は、ペナルティではなく、一旦数%削減した上で申請した人へのインセンティブとする前向きな制度の導入は効果がある旨、研究時間の確保については、研究支援スタッフの充実など支援体制を検討いただきたい旨発言があった。

(8) 利益相反に係る講演会の開催について

研究協力課長から、平成26年12月15日(月)13:00から附属図書館4階会議室において利益相反に係る講演会を実施する旨報告があった。

(9) コミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーション・プロジェクトシンポジウム及び情報交換会について

研究協力課長から、平成26年12月20日(土)13:30からアバンセにおいてコミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーション・プロジェクトシンポジウムが開催され、次いで18:00から佐賀ワシントンホテルプラザ11階「銀座八丁」において情報交換会が開催される旨報告があった。

(10) 電子ジャーナル検討の経過報告

附属図書館長から、エルゼビア社からの3年間のパッケージ契約確約を条件に2015年から2017年は今年度の価格で据え置き、確約しない場合は年間3.5%の値上げをするとの提案について、第1回附属図書館電子ジャーナル及び文献データベース検討委員会での議論の報告があった。12月17日または18日に再度委員会を開催し、結論を附属図書館運営委員会に諮る予定であり、その間に医学部・理工学部・農学部の意見を伺いたい旨発言があった。

**【各学部等からの報告・連絡事項】**

特になし。

**【その他】**

特になし。

以上